

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第135号

発行日
発行
編集
印刷平成30年5月31日
笠間市社協北川根支部
北川根支部広報委員会
(有)クリエイティブサンエイ

代議員会(平成30年4月28日 社会福祉会館)

去る四月二十八日の代議員会開催により平成三十年度の活動が始まりました。社会は、少子高齢化がさらに加速し人口減少社会へと向かっています。今

申し上げます。また、当支部に日頃よりお力添えを賜り心から感謝申し上げます。ごしのこととお喜び



支部長 鈴木 裕

地域の元気を

目指して

新緑の青葉が目にしみる季節を迎えました。会員の皆様方にはご健勝にてお過

お知らせ

当面のスケジュール

- ◇女性部研修
5月31日(木)
(場所:牛久シャトー他)
- ◇合同茶話会
10月~11月(予定)
- ◇北川根ウォーキング
10月20日(土)
- ◇支部研修
平成31年1月23日(水)

後五年後、十年後さらに混迷の社会になることが危惧されます。その世相の中で、地域の方々の福祉に対するニーズは多様化しています。福祉の在り方も行政の支えから地域の支えへと、地域の福祉は地域で展開していくことが求められるようになりました。地域の高齢者の増加に伴い、高齢者の生きがいづくりや健康づくりの活動の支援に、更には高齢者を含め地域の人達の顔つなぎの場(サロン等)となるような新

女性部総会を開催



女性部総会は、4月28日の支部代議員会終了後開かれました。

平成29~30年度役員

【社協北川根支部】

支部長	鈴木 裕 (留任)
副支部長	水田 諭 (留任)
副支部長	鶴田 浩一 (留任)
副支部長	上野 昌子 (留任)
会 計	小川 慎吾 (留任)
会 計	水庭 ちさい (留任)
監 事	飯村 和司 (留任)
監 事	飯村 明夫 (留任)
顧問	菅谷 亨 (留任)

【女性部】

部 長	上野 昌子 (留任)
副 部 長	塩崎 祥江 (留任)
副 部 長	倉坂千代子 (留任)
会 計	水庭 ちさい (留任)

たな活動の支援にもあたっていきたいと思います。地域の元気は、人と接する機会の多さです。

今年度も地域会員の皆様及び法人会員の会費を運営資金として、「幼児から高齢者に至るすべての地域住民が、安心して過ごせる地域づくり」に行政の支部委員、福祉推進員さん・支部内の民生委員児童委員さんのご協力ご支援を頂きながら、私たち役員、心を一つにして活動していく所存です。宜しくお願いいたします。

平成30年4月28日

平成30年度代議員会概要

社協北川根支部長 鈴木 裕

地域福祉センターともべA館（旧：友部社会福祉会館）

(1) 収入の部

一般会計

項 目	29年度決算	30年度予算	備 考
1. 前年度繰越金	343,382	356,930	年度当初の事業資金
2. 会費還元金	797,000	800,000	
3. 助成金	129,700	130,000	
広報助成金	79,700	80,000	
福祉コミュニティ	50,000	50,000	
4. 雑収入	60,002	50,000	支部研修会参加費・預金利子
合 計	1,330,084	1,336,930	

(2) 支出の部

項 目	29年度決算	30年度予算	備 考
1. 総務委員会	787,294	765,000	
(1) 地区行事助成	455,000	450,000	
① 各区行事	220,000	220,000	地区行事助成(11地区)
② 区長会助成	30,000	30,000	北川根小学校学区区長会への助成
③ 児童行事	115,000	90,000	親子活動助成金、北川根地区公民館、北川根運動会・収穫祭、二中学生発表会
④ 高齢者助成	90,000	110,000	高齢者クラブ助成金(5カ所)、ササガキ大会補助
(2) 研修交流	94,320	70,000	入館料・食事代・高速料金等
(3) 在宅福祉	225,000	235,000	配食サービス食材費、歳末見舞金
(4) 事務費	12,974	10,000	事務用消耗品
2. 広報委員会	99,144	100,000	支部だより(3回発行)印刷費
3. 支部役員会等	6,716	10,000	会議用お茶
4. 女性部活動費	80,000	80,000	茶話会・研修会開催経費等
5. 予備費	0	381,930	
合 計	973,154	1,336,930	

(3) 収支決算

収入決算額	支出決算額	30年度繰越金
1,330,084	973,154	356,930

7 (法人55、特別30、一般1312) から、1288 (法人59、特別28、一般1201) へと、法人会員が4増、逆に、特別会員が2減、一般会員が111減、合計109減となりました。青色パトロール

部長が支部長あいさつを行いました。笠間市社協の藤枝事務局長、北川根小学校の磯野宏人校長、友部第二中学校の大関修校長からの来賓あいさつがありました(市社協からは、吉成さんと米川さんも出席されました)。その後、民生委員児童委員の赤津博さんを議長に選出、平成29年度事業報告・決算報告、平成30年度事業計画・予算等の協議を行い、全議案が提案通り承認されました。その後、平成29年度30年度の役員の確認を行なって11時に閉会しました。

【議案第1号】

平成29年度事業報告

会員数が、前年度の139

車での支部内巡回(月1回)、毎月1日・15日の立哨協力、北川根ウォーク、配食サービス(月1回)、合同茶話会、支部研修、女性部研修、北小・二中との連携強化事業・各地区福祉事業・児童行事等への助成、高齢者等への助成・慰問等を行いました。

【議案第2号】

平成29年度決算報告

(1) 収入額

1,330,084円

前年度比3.9%増

前年度、基金会計を廃止し、一般会計に繰り入れたことなどから繰越金が増え、収入額全体で前年度より3.9%増となりました。

(2) 支出額

973,154円

前年度比3.9%増

支部研修交流会の好評など、全体で前年度より3.9%増となりました。

【議案第3号】

平成30年度事業計画

前年度と同様の事業の他に、地域高齢者クラブへの助成として、サロン(長尾路地区)への助成も行います。

【議案第4号】

平成30年度予算

前年度の執行状況を勘案し、別表の通り策定しました。

協力体制の確立を

平成30年度
代議員会

笠間市社協北川根支部、平成30年度代議員会は、4月28日(日)午前10時から11時まで、笠間市地域福祉センターともべA館(旧笠間市友部

■全議案を提案通り承認

鶴田副支部長の司会で始まり、水田副支部長が開会のことば、鈴木支

サロンで仲間づくり

―長兎路地区でオープン―

長兎路地区有志により今年、高齢者だけでなく誰でもが参加できるサロンがオープンしました。名前は地区名にちなみ『ふれあいサロン兎』です。3月16日の初日は、オープニングセレモニーのあと、「チンドン夢の屋」さんの素晴らしい芸を堪能し皆様に大変喜んでいただきました。



サロンがオープン（長兎路改善センター：3月16日）

良いと思っております。

多くの関係者の皆様のご指導や、ご支援をいただき、やっとふみだしたサロンです。スタッフも参加者も一緒になって仕事を分担し、自分達のサロンという意識を育てながら続けて行きたいと思えます。

嬉しい事に、毎月のプログラムの中にこの様なものを取り上げて欲しいとか、取り上げたらどうかなどの積極的なご意見が寄せられるようになりました。

自分の健康は自分で守るために、家にこもらず、楽しくおしゃべりする場があったら、頭も心も身体もずっと元気でいられるのではないのでしょうか。（上野）



「チンドン夢の屋」さんの芸を堪能



学ばん 共に
進まん 共に
のものと

笠間市立友部第二中学校長
大関 修

日ごろから、本校教育活動への深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。本年度、友部第二中学校は93名の新入生を迎え、生徒数314名でスタートしました。校訓「共に語らん」に、人と人とのつながりを重視した教育活動を行ってまいります。ますます進む人口減少の中、情報化社会・グローバル社会をたくましく生き抜く能力の育成が求められています。「知・徳・体」バランスの取れた人格の形成は、決して学校教育だけではなし得るものではありません。今後ともご家庭や地域の方々のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

明るく 元気な 笑顔あふれる 北川根小学校
共に語らん 共に学ばん 共に進まん 友部第二中学校



育の目標 学校教

笠間市立北川根小学校長
磯野 宏人

お昼休みに窓の外を見ていると「校長先生！ー」とフラフラプを回しながら手を振る子供達。この明るい笑顔の子供達こそ、地域の宝だと感じます。今年度、北川根小学校は、新入生48人を迎え、児童数277人、教職員数25人でスタートいたしました。学校教育の目標は、北川根支部の皆様には、昨年度同様、登下校時の見守り活動や朝のあいさつ運動はじめ、各種教育活動へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。今年度もよろしくお願いいたします。

配食弁当を月1回



ベテランさん頼みです。11時頃には、彩り良くお弁当が完成。民生委員児童委員さん達が引き取りに来てくださり、お弁当を待つ家々に届けてくださり、喜んでいただきました。

(軽部)

社協北川根支部女性部は、毎月一回、一人暮らしのお年寄りに、手作りお弁当の配食をしています。

61名の部員が7班に分かれ、交代で調理します。料理自慢の他班の部員も手伝ってくれるので、とても心強いです。

配食前日には、班長・副班長が食材の買い出しをし、安くて新鮮な物を選びます。材料費は、主に社協北川根支部の予算から

出しています。

4月の献立は、今が旬のタケノコご飯、揚げ鶏の南蛮漬け、里芋等の煮しめ、フルーツサラダ等々。

「揚げ鶏の南蛮漬けを覚えたので、家でも作ったところ、大好評でした。」

お昼に間に合うように手分けしてテキパキと調理。味付けは、

お弁当の配食と

4月の様子

女性部



北川根支部研修・交流会報告

「蘭学めぐり」

1月17日、曇天のなか、表記の研修・交流会が実施されました。

友部公民館の「歴史出前講座」との共催で、蘭学と医学の先進地である千葉県佐倉市内の史跡と、国立歴史民俗博物館の見学です。

このコースは非常に好評で、社協会員の参加者が40名、その他公民館関係者を含めると45名でバスは満席。キャンセル待ちの方もおられたようです。

◆佐倉順天堂記念館◆

最初は、江戸時代の末期、蘭医・佐藤泰然が医学塾兼診療所として創建した「佐倉順天堂」の記念館です。当時すでに癌の手術など高度な医療が行われ、また手術ごとにその料金が掲示さ



国立歴史民族博物館にて（佐倉市：1月17日）

れているのには驚きました。

◆旧堀田邸・武家屋敷◆

次は、最後の佐倉藩主・堀田政倫が明治23年に建設した旧堀田邸です。約3万坪の堀田農林試験場の中央に位置し、広大ですが豪華という感じはなく、士族らしい質素な雰囲気を感じられました。

続いて武家屋敷です。あいにく到着したところに雨が降り出したため、バスに残られた方もいましたが、大部分の方は傘をさして見学しました。

武家屋敷は藩が所有し、藩士は身分や俸禄に伴って転居すること、しかし、炊事用のかまどは自前なので可動式になっていたことなど、なるほどと思われました。

◆国立歴史民俗博物館◆

最後は、昼食を含めて国立歴史民俗博物館の見学です。名前に恥じない充実した巨大な博物館でしたが、時間と体力に限界があり、ここだけを一日かけて、ゆっくり見てみたいと思われた方も多かったようです。

以上、比較的行くことが少ない佐倉方面を訪ね、盛りだくさんのメニューで満足な一日でした。

次年度は、友部公民館の「歴史出前講座」はなくなるようですが、社協北川根支部では、独自にこの支部研修・交流会を続けていく予定です。是非ご参加下さい。

(鶴田)

編集後記

東日本大震災（11年3月）から7年、

関東・東北豪雨（15年9月）から3年、熊本地震（16年4月）から2年、九州北部豪雨（17年7月）から1年。被災者の皆さんの心に寄り添って。（藤森）